

ナガ ス マチ
長洲町

中逸 博光 町長

長洲町は、昭和32年10月に1町1村が合併し、令和4年度に合併65周年を迎えます。記念すべき年を機にさらなる発展に向け、定住・子育て・教育・福祉・産業分野を中心に長洲町の特色を生かした地方創生の施策に全力で取り組んでまいります。

総合戦略に掲げたゴールの実現のためには多くの課題がございます。「住みたい、住んでよかった」と思っただけのような魅力あるまちづくりを目指します。

本町の地方創生の取組みにご賛同いただける企業様からの温かいご支援お待ちしております。

寄付
御礼

- ・贈呈式開催
- ・感謝状贈呈
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

人口

総人口…… 15,352人
男…… 7,611人
女…… 7,741人
世帯数…… 6,517世帯

人口構成比

15歳未満…… 12.1%
15～64歳…… 52.1%
65歳以上…… 35.8%

面積

総面積…… 19.44km²
農用地…… 6.77km² (34.8%)
森林…… 0.34km² (1.7%)
宅地…… 6.13km² (31.5%)

教育機関

小学校…… 4校
中学校…… 2校
高等学校・高専…… —
大学・専門学校他…… —

産業構造

第1次産業…… 638 (0.9%)
第2次産業…… 44,313 (62.8%)
第3次産業…… 25,612 (36.3%)
生産総額: 百万円

工業団地

長洲工業団地
名石浜工業団地



交通アクセス

■長洲町役場まで
九州自動車道 南関ICから…… 約40分
菊水ICから…… 約40分
JR 長洲駅から…… 約0.7km
有明フェリー 長洲港から…… 約1.5km

※データは令和3年6月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

長洲町まち・ひと・しごと創生推進計画

〈SDGs〉関連するゴール



まち・ひと・しごと創生推進事業

基本
目標1

しごとをつくり、安心して働けるようにする

新規企業誘致や企業への支援をはじめ地域経済の活性化に向けた取り組み、地域資源を活かした農水産業の振興、伝統産業の再生など“働く場のある町”を目指します。

基本
目標2

町とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる

空家対策による基盤整備をはじめ、移住促進のための情報発信を行います。また、金魚を核とした観光振興の取り組み等を通して関係人口の創出を図ります。

基本
目標3

結婚・出産・子育てができ、質の高い教育を受けられるようにする

一人ひとりが活躍・参画する社会づくりの実現とともに、切れ目ない細やかな支援とともに幼児英語教育など特色ある教育により感性豊かな子どもの育成を目指します。

基本
目標4

安全・安心に暮らすことができる、魅力的なまちをつくる

宅地開発や公共交通の利便性向上など快適に生活できる住環境の実現を目指すとともに、スポーツと健康の融合による健康増進事業を推進します。

基本
目標5

多用な人材の活用を推進

居住外国人の比率の高い長洲町において、やさしい日本語での情報発信や交流機会の創出が大切です。誰もが住みよい環境で生活できる町を目指します。

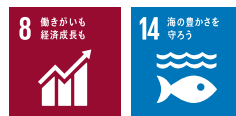
重点
プロジェクト

水産振興による地域活性化事業

分類 農林水産振興

総事業費 10,000千円 寄附目標額 —
計画期間 地域再生計画の認定の日…2020年4月1日～2025年3月31日
数値目標 ●町内企業における新規雇用者数
 …………… 750人(2020年度～2024年度)

〈SDGs〉関連するゴール



海の恵み再生！6次産業化事業

長洲町は、干満が大きく多様な水生生物が生息する有明海に面し、アサリや海苔などの水産資源に恵まれています。

しかし、近年の大雨などの影響により漁場環境が大きく変化し、特にアサリの漁獲高は著しく減少し、昨年度においては「ゼロ」となっています。

町では、安定的な漁獲量の確保に向け、10年程前に大学や企業と連携し漁場環境改善に向けた取り組みや水産資源の生息環境の研究を始め、検証作業などを行っています。

有明海の恵みを再生し持続可能で確立した産業とするため、そして、水産資源を活かした加工食品開発などの6次産業化を通じた地域活性化を目指し、自然と共存した豊かで強い水産業が営まれるまちづくりを推進します。

有明海の恵みを守り、全国に届けられるよう支援・協力していただける企業様を募っています。



有明海～海苔漁場～

重点
プロジェクト

子育て・教育支援プロジェクト

分類 移住・定住促進

総事業費 10,000千円 寄附目標額 —
計画期間 地域再生計画の認定の日…2020年4月1日～2025年3月31日
数値目標 ●人口社会増数(累計) …………… 125人
 ●年間における出生者数 …………… 120人
 ●町民が「住みやすい」と思う割合 …………… 85%

〈SDGs〉関連するゴール



子育て・教育支援プロジェクト

長洲町では、妊娠期から子育て期における切れ目ない支援を目指し、妊娠・出産・育児に関するさまざまな悩みなどを相談できる窓口を開設しています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、子育て世帯の生活様式が大きく変化する中、経済面を始めとして子育て世帯に多くの影響がおよび、本町においても多岐に渡る相談が寄せられています。

相談窓口の一つである『はぐくみ館』では、関係機関との連携・調整役として、保健師や助産師、臨床心理士などの専門家によるチーム作りなど、相談者に身近で、寄り添った相談体制を整えています。

また、教育現場においては幼児期からの英語教育の実施やGIGAスクール構想の実現に向けた一人一台のパソコン配備によるICT教育の推進を図るとともに、学校に行きづらい児童・生徒の心の休憩所となる居場所づくりや、就労家庭などの支援に向けた「学童保育」の充実など、教育環境の整備に力を入れています。

未来を担う子どもたちへの投資を充実し、郷土愛の育成とともに、生きる力をはぐくみながら、「主体性をもち生涯を通じて学ぶ人づくり」を目指します。



町内の保育所・こども園での幼児英語教育

課題 1 「金魚のまち長洲」を全国に広めたい!



5年の歳月をかけて誕生したながす羽衣琉金

金魚養殖の歴史の長い長洲町は、養魚組合による新品種「ながす羽衣琉金」の改良や金魚を核としたイベントを開催するなど町一体となって金魚でつながるまちづくりを行っています。若い世代へと引き継がれる伝統産業として「金魚のまち長洲」を守り、全国へPRできる機会を日々求めています! 「金魚のまち長洲」を全国に広めるため、様々なアイデアをお願いします。

課題 2 在住外国人にやさしい町を目指します

熊本県内一の外国人人口比率の高い長洲町では、誰もが相談しやすい「外国人相談窓口」を設け、通訳によるスムーズな相談対応、また、SNSでの積極的な情報発信を行っています。さらにやさしい日本語教室の開催を行い、異文化理解・地域交流の場を作っています。

今後は、地域のサポーター育成に注力し、やさしい日本語の理解促進と周知を図る必要があります。企業様のご支援をお願いします。



役場内に開設されている外国人相談窓口

課題 3 積極的に!みんなで子育てがんばる町へ



プレママ・プレパパ教室

長洲町の地方創生の取組みのひとつである「男女がともに活躍・参画する社会づくり」のために、令和4年度から『男性の育児休業取得促進奨励金事業』をスタートしました。女性も男性も育児休業を取りやすい環境づくりを推進し、子育てしやすい町+子育て世帯を応援する町のPRを進めます! 企業様のご支援、ご協力をお願いします。

課題 4 生活・産業の基盤となる道路整備を早急に!

長洲町は造船業・サッシ業など多くの企業が工業団地に立地しており、経済活動に大切な幹線道路の安全確保のために道路の補修・維持管理は不可欠な事業です。

また、近隣市町とつながる道路の拡張整備は経済活動だけでなく、町民の生活の利便性向上が期待できます。生活・産業の基盤となる道路整備を早急に進めるため、ご支援をお願いします。



都市計画道路の早期実現に向けて

課題 5

地域のデジタル化・つながり作りを続けたい



地域の公民館で開催したスマートフォン教室

長洲町では、町内に33カ所の介護予防拠点施設において健康体操や茶話会、ものづくり教室・カラオケ教室など多くの地域活動が活発に行われ、各所に人と人とのつながりがあります。新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけに、デジタルでもつながる地域づくりを目指し、介護予防拠点施設へのWi-Fi整備を行い、やさしいスマートフォン教室を実施しました。今後は誰もが情報を受け取りやすい環境づくりやサポート体制を充実する必要があります。

課題 6

災害に強い安全・安心のまちへ！

海に面し、主に平地が広がっている長洲町は、過去に台風・豪雨による家屋の浸水・農作物の被害を受けることが少なくありませんでした。近年のゲリラ豪雨や大型台風の発生に備え、町民の安全・安心を確保するためには多方面からの災害対策が必要となります。

災害被害を最小限にするため、地域の防災力向上・迅速な避難所運営・雨水対策が必要な課題となっています。



豪雨被害の復旧の様子

課題 7

将来の長洲町に向けて～有効な土地利用～



長洲町の現在の都市計画図

長洲町の発展に向け、具体性ある将来ビジョンや地区ごとのまちづくりの方針となる「長洲町都市計画マスタープラン」と用途地域の見直しを図ります。ぜひ力を貸してください。

課題 8

部活動⇒地域スポーツでスポーツ権確立！

部活動の段階的な地域移行に向けて、長洲町ではスポーツにおける子どもの権利を守り、地域に根付いた活発なスポーツ活動・文化活動ができる町を目指します。企業様のご支援をお願いします。



地域スポーツ活動に参加する子どもたち